

なぜ転職したいのに転職しないのか

— 転職の“都市伝説”を検証する —



転職

労働移動

転職活動

転職満足度

転職迷子

プロジェクトリーダー

孫 亜文

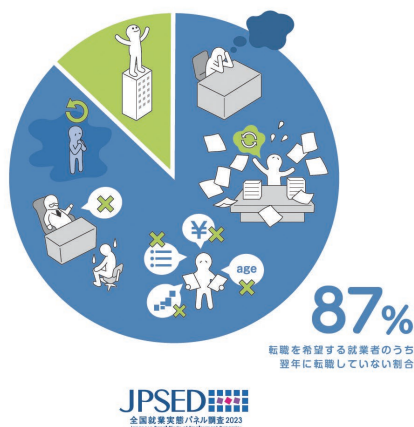
研究員／アナリスト



Works
Report
2023

なぜ転職したいのに 転職しないのか

— 転職の“都市伝説”を検証する —



概要

転職の課題を乗り越えるためには、まずその実態を明らかにしなければならない。本報告書では、「転職希望者の87%は1年以内に転職していない」という事実を起点に、転職希望の程度や活動の状況に応じた課題を示している。また、「ブランク期間」「年齢」「転職回数」といった転職にまつわる都市伝説の真偽についても、大規模データである「全国就業実態パネル調査」を用いて検証することで、まだ解決されていない課題の再確認も行った。

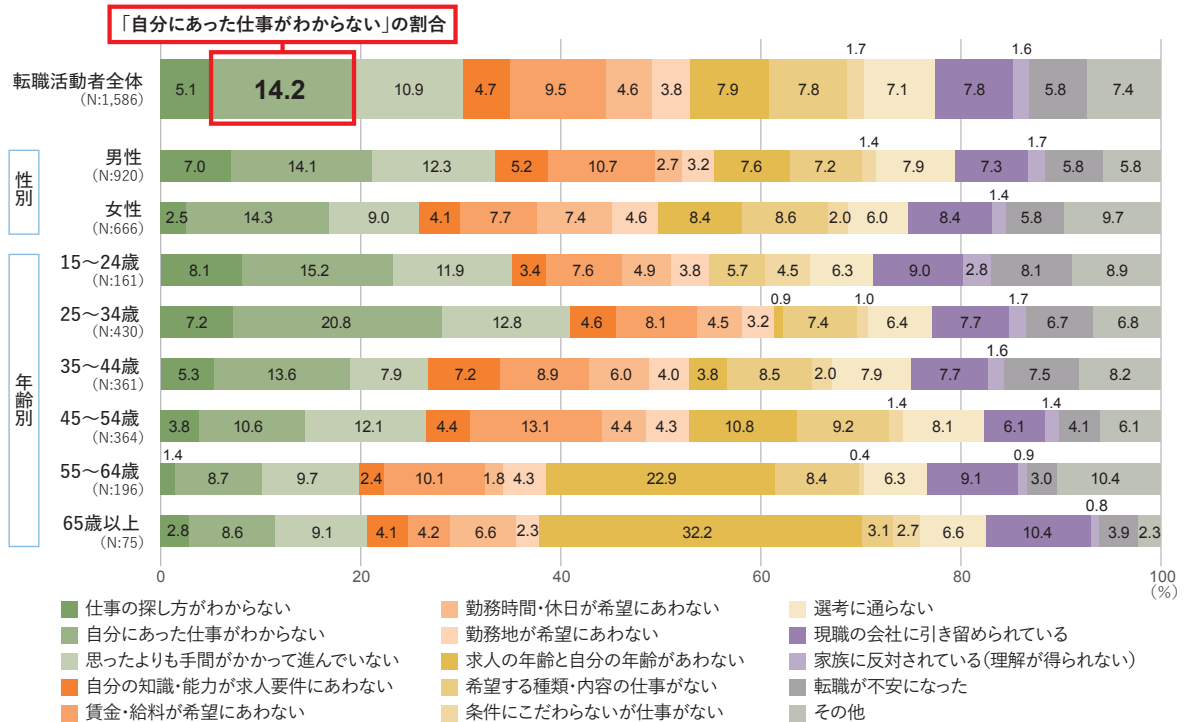
問題意識

2023年6月に、政府は「新しい資本主義の加速」と題し成長分野への労働移動の円滑化を含む「三位一体の労働市場改革」に取り組むと表明した。改革への取り組みは、現在の労働市場の実態を正しく理解することから始まる。日本の労働移動の中でもとりわけ転職状況に目を向けてみると、転職者よりも多くの転職希望者が存在している。そのうち約87%は1年以内に転職していない。もし転職に際し、希望

者個人ではどうにもできない阻害要因があるのであれば、それらを解消する必要がある。その手立てを考えていくためには、課題の在りかを知らなければならない。本報告書では、働く人が自らの希望と選択によって転職できるような社会を実現するために、働く個人、企業、仲介サービス、政府のそれぞれが何をすべきかを考えるための一助になるよう、転職の実態と課題を提示することを目指した。

結論

転職活動者がまだ転職していない理由(性別、年齢別)



課題に向き合い、それを乗り越える道のりの第一歩は、その時々リアルな状況を知ることである。知らなければ、本当に必要な手立ては見いだせない。転職というテーマは長きにわたって議論されてきたものだからこそ、時代によって課題も異なれば、最適な解決策も異なってくる。そのために本報告書では2つの角度から実態を捉えることに挑戦した。

1つ目の挑戦は、転職していない理由を転職活動に至る前の段階にも踏み込んで転職希望者に直接聞くことにより、希望の程度や活動の状況に応じた課題を明らかにしようとしたことだ。それによってわかったことは、職業経験の多寡にかかわらず、自分にあう仕事が見つからないまま転職活動をしている人、いわば「転職迷子」が一定数いるという現実である。転職を妨げるハードルは、希望する仕事内容や労働条件の一致不一致だけではない。そこに至る前の段階にも存在している。「自分にあう仕事が見つからない」という課題の存在が広く知られ、具体的な対策への

議論が深まることを期待している。

2つ目の挑戦は、これまで言われてきた転職にまつわる都市伝説の真偽を確認することだ。ここでは「ブランク期間」「年齢」「転職回数」など6つの都市伝説を検証した。例えば、これまでは「転職回数が多いと転職は難しい」と言われてきたが、正規雇用、非正規雇用のいずれも、転職回数が多いからといって転職確率が低くなるわけではないことがわかった。6つの都市伝説すべてが否定されたわけではないが、この挑戦によってこれまで言われてきた課題の現状を知ることができた。

Works Reportはこちら

なぜ転職したいのに
転職しないのか

<https://www.works-i.com/research/report/tenshoku.html>

